

令和8年度 上諏訪中学校 国版コミュニティ・スクール 組織について

上諏訪小学校と小中一貫教育校としてスタートして4年目となる。

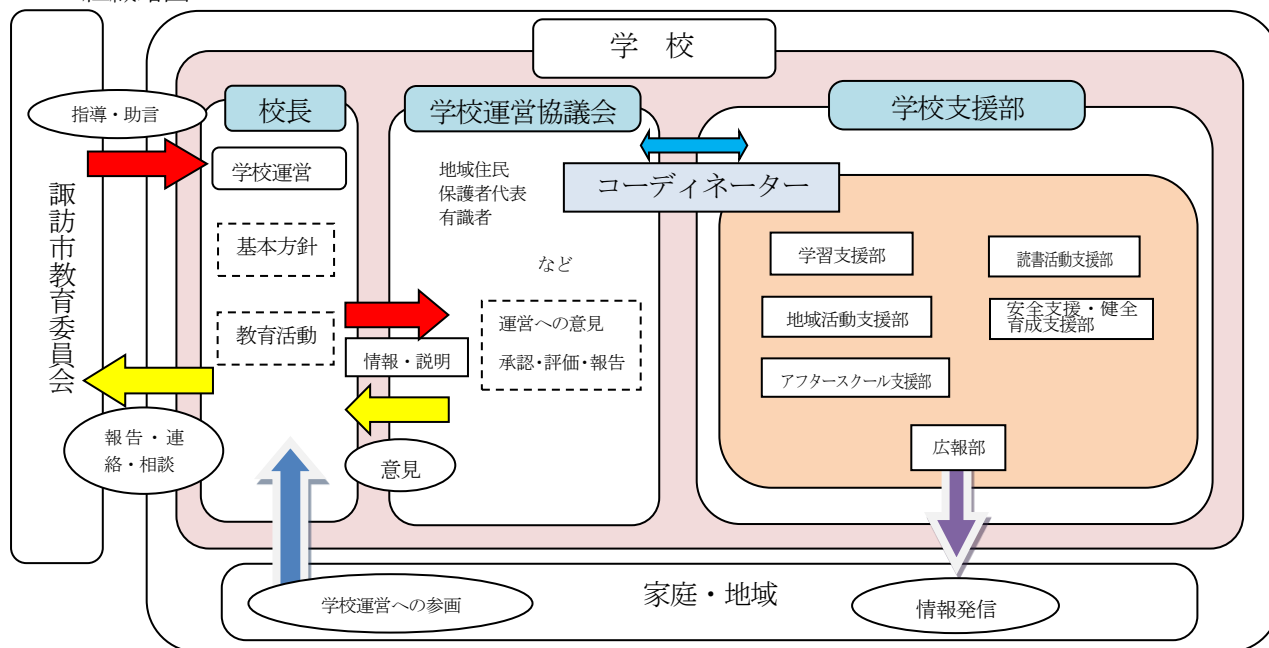
国版コミュニティ・スクールとしての活動。6つの学校支援部を中心に活動していく。

1 運営委員会名 「上諏訪中学校学校運営協議会」

- 上諏訪中学校の教育活動を推進するにあたり、地域の意見を反映し、学校においても地域においても生徒が健やかに成長するための教育環境づくりを行う。
- 生徒が地域の方々と共に学ぶ活動を推進し、自分のふるさとに誇りを抱き大切にしようとする心情を養う。さらに、そのことが上諏訪中学校区の地域の活性化につながることを目指す。

2 組織略図及び組織内容

組織略図



- (1) 上諏訪中学校学校運営協議会を設置する。運営協議会には事務局を置く。

- (2) 運営協議会の構成員は次のとおりとする。

コーディネーター さん、校長

各支援部会代表〔学習支援部・読書活動支援部・アフタースクール支援部・地域活動支援部・安全支援健全育成支援部・広報部〕 公民館・自治会等代表、有識者等校長が必要と認めたものとする

- (3) 支援部の組織と役割 (令和8年度)

部名	活動内容	地域代表者	学校職員
学習支援部	授業支援、放課後等の学習支援		
読書活動支援部	読み聞かせボランティア		
アフタースクール支援部	上中タイム		
地域活動支援部	地域交流活動、ふるさと学習支援 (施設訪問、諏訪湖清掃、ニッコウキスゲ、地域奉仕活動、等)		
安全支援・ 健全育成支援部	地区懇談会、安全パトロール、PTA活動 安心の家 等		
広報部	ホームページ、広報活動		

今年度の学校運営協議会の日程

	日程	主な内容
第1回	5月1日（金） 参観:15:25～15:50 協議会:16:00～17:00	・授業自由参観 ・会長・副会長選出、役員委嘱 ・令和8年度 上諏訪中学校教育目標及びグランドデザインの説明と承認 ・令和8年度の取り組み内容、計画について ・運営協議会委員と担当職員との懇談、意見交換等
第2回	10月23日（金） 参観:14:35～15:25 協議会:15:35～16:40	・授業自由参観 ・校友会四役役員生徒・2学年各学級長との意見交換
第3回	2月26日（金） 参観:14:35～15:25 協議会:15:35～16:30	・授業自由参観 ・「後期学校評価アンケートまとめ」「各支援部まとめ」を資料として報告 ・運営協議会委員の皆さまと、来年度以降の学校運営について懇談・協議等

【支援部会名】	学習支援部
【昨年度取り組んだこと】 ・総合的学習の時間（1年：立石公園のオーバーツーリズム問題 2年：地域のモヤつとを解決しよう 3年：地域素材を生かした提案を考え、試し、実行する） ・人権学習（1年：関わり方や言葉遣い 2年：多様性 3年：3年間のまとめ：探究学習） 人権集会（12月） ・性教育（1年：第二次性徴 2年：性情報 3年：性感染症 より良い男女関係） ・高校生による学習支援 3年生（7月22～25日） ・上中キャリアメッセ 2年生（6月6日）	
【成果】 ・2年生はキャリアメッセを行い、進路について考えられた。 ・3年生の学習会で高校生による支援があったことで充実した。 ・総合的な学習の時間の学習では、各学年のテーマに沿って、学習を進められた。1学年では市長に提案をしたり、3学年では「のみあるきイベント」への参加をしたりすることで、地域と学習をつなげることができた。 ・学年を超えておたがいに発表でき、自信を深めることができた。	【課題】 ・総合的な学習では、地域の方の力を引き続き仰いで充実した学習にしていきたい。 ・もっと生徒自身が「好きなこと」を問いのきっかけとして、学習を展開していけるようにしたい。
【今年度の方向】 ・総合的な学習の時間で、生徒たちの疑問や課題に答えられるように、引き続き地域の方々への協力を仰いでいきたい。 ・5教科の学習について、授業や家庭学習について支援を得られる手段がないか模索し続ける中で、生徒の「自主学習」を充実させていきたい。 ・読み聞かせなどボランティアさんが入る機会が多くもてたので、来年度も継続していく。	
【今年度の構想】 ・昨年度行ったことについては継続できることを継続していく。 ・研究テーマ『問いをもち、とことん「探究する」子どもを育む授業づくり』（継続3年目） ～見方・考え方を働かせて～ ～深く考え表現・発信する学び～ ～よりよく判断する学び～ の具現化に向け、地域の方に協力を仰ぎ、連携して総合的な学習の時間などの学習を充実させていく。 ・生活記録の中のプランニングを活用の充実を図り、家庭学習計画を立てる力を身につけられるようにする。自ら目的をもって学習の計画を立てて取り組み、その内容について評価を基にしながら振り返り、また次の計画を考える。このサイクルを通して自らの力を高めていけるようにする。	

【支援部会名】

読書活動支援部

【昨年度取り組んだこと】

- ・手長の森読み聞かせボランティアの皆さんによる各クラス生徒への読み聞かせを毎月1回（年8回）、朝読書の時間にいただいた。
- ・毎月第3日曜日の「みんなで本を読む日」を、図書館便りや放送で全校に呼びかけた。
- ・図書館利用者数を増やすため、校友会で生徒の希望を取り入れた企画を考えた。読書旬間中にビブリオバトルや上諏訪小へ読み聞かせを行い、図書館や読書への興味・関心を高める企画を考え、推進した。

【成果】

生徒の感想を聞きたいボランティアの方には図書委員による読み聞かせの感想を届けた。

ボランティアの方に、終戦記念日やクリスマスなど、その時期に合わせた題材で読み聞かせを行っていただいた。

ボランティアの方の読み聞かせが、中学生による小学生への読み聞かせに良い刺激になっていた。

季節に合わせた本や、教科の授業で扱った内容の本のコーナーなどを設けた。

<読み聞かせボランティアの方々より>

- ・図書委員さんと少しお話しできたりするので楽しかったです。
- ・図書館集合なので、先生や他のボランティアさんと顔を合わせられるのが良かったです。
- ・静かに聞いてくれていて、とても読みやすかったです。
- ・準備を進んで手伝ってくれたり、支えていただいています。

【課題】

・本年度も読み聞かせに来ることができなくなったボランティアさんがいたとき、別の方が代わりに入ってくださりありがたかった。来年度も臨機応変にできると良い。

・図書委員が読み聞かせの運営、推進に責任をもってあたり、より充実した時間にしたい。

・みんなで本を読む日は、図書館だよりで触れたり学校の放送で呼びかけたりしたが、図書委員とも相談しながら、より充実させるためのアイデアを考えていきたい。

・校友会の活動とも連携しながら、図書館や読書への興味・関心につながる活動を考え、行っていきたい。

【今年度の方向】

- ・読み聞かせの隊形は、コロナ以前のように読み手と聞き手が近い形で行っていききたい。
- ・諏訪湖や手長神社など身近な話題を扱ってもらえると子どもたちも親しみやすい。
- ・生徒がより自主的に関わって取り組めるような活動ができないか、検討していきたい。
- ・学級の読み聞かせ記録カードは、先生の感想などが分かるので今のやり方で継続していきたい。
- ・「みんなで本を読む日」の全校への呼びかけも継続していきたい。
- ・校友会の活動とも連携して読書への興味・関心が高まる活動を考えていきたい。

【今年度の構想】

- ・読み聞かせの隊形など、感染症に配慮しつつもコロナ禍以前に戻した方がよいことは戻していく。
- ・諏訪湖や手長神社など身近な話題を扱っていく。
- ・学級毎の読み聞かせ記録カードは、先生の感想などが分かるので、今のやり方で継続していく。
- ・「みんなで本を読む日」の全校への呼びかけを継続していく。他校の取り組みも参考にしながら、活動を充実させるための工夫を考えていきたい。

【支援部会名】 地域活動・校外活動支援部	
【昨年度取り組んだこと】 ・諏訪湖清掃（５月２５日、１０月５日） ・ニッコウキスゲ植栽（６月２８日） ・赤い羽根募金（ボランティア委員会） ・上諏訪小中共同募金活動（ボランティア委員会） ・ニッコウキスゲ種まき（ボランティア委員会） ・子ども食堂でのお手伝い ・上諏訪小学校への読み聞かせ ・書き損じハガキ回収、ベルマーク回収など（ボランティア委員会）	
【成果】 ・本年度も諏訪湖清掃に多くの生徒が参加し熱心に取り組んだ。 ・ニッコウキスゲ植栽にも、多くの生徒が参加してくれた。地域に触れる良い機会となっている。 ・小中合同で募金活動ができた。 ・読み聞かせに進んで参加する生徒が多く、活動が活発である。	【課題】 ・諏訪湖清掃・ニッコウキスゲ植栽は、先輩から受け継ぐ意義ある行事として継続させていきたい。 ・子ども食堂で、吹奏楽部が演奏している。地域に根ざした持続可能な活動として継続していきたい。
【本年度の方向・構想】 ・昨年度は、地域の方々や小学校と交流する機会が増えたので、今年度も引き続き継続していく。 ・地域活動の参加者が増やしていくために、社会福祉協議会と連携し、ボランティアカードを作成・交付していく。	

【支援部会名】

アフタースクール支援部

【昨年度取り組んだこと】

- ・ 自主サークルの開設【上中サークル、槻の木サークル】
- ・ 部活動支援

【成果】

- ・ 生徒の自主サークルである「上中サークル」の開設、運営。生徒で運営委員会を組織して、生徒主体で運営する仕組みを作った。
- ・ 槻の木サークルは年10回を計画、実施した。

【課題】

- ・ サークル参加に意欲的な生徒がいる半面、固定化する様子も見られるため、裾野を広げていく取り組みをしていきたい。
- ・ 着物の着付けと将棋ともに人数は少ない。更に活動の幅を広げていきたい。

【 今年度の構想 】

●上中タイム（サークル活動）について

上中タイムは、生徒一人ひとりの「好き」「やりたい」「得意」といった内発的な興味関心を出発点とし、仲間とともに主体的に活動する時間。面白い・楽しいと感じることに夢中になる経験を通して、生徒の主体性・協働性・自己表現力を育てることを目的としている。

- ・ 今年度は「サークル活動」に加えて、「個人プロジェクト」という形を加えて運営をする。
- ・ 上中タイムの集大成として、全校を巻き込んだ発表の場「好きフェス」を設定。生徒の興味に応じた多様な表現の場を設定する。

※公開：7/15（水）

※「好きフェス①」：10/4（土）・「好きフェス②」：2/10（水）

展示エリア	ステージエリア	体験エリア	販売エリア
作品や研究してきたことのパネル発表や実物展示。	演奏・発表・パフォーマンス	ワークショップ・体験型の企画	作品・食品
例) 美術作品・漫画紹介 自作の電車ジオラマ	例) 舞台・演奏・アイドルライブ・実験ショー	例) eスポーツ・スポーツ体験・メイクアップ	例) 作成した雑貨・作品 クッキー・コーヒー

★地域の皆さまと創る！～生徒の「やりたい」を一緒に育てていただけませんか？～

上中タイムでは、生徒一人ひとりの「やってみたい」「好き」「気になる」といった思いを大切に、それを出発点とした学びの充実を目指しています。しかし、**生徒の興味・関心は多様であり、学校の中だけでは十分に応えきれない場面もあります。**そこでぜひ、地域の皆さまのお力をお借りしたいと考えております。生徒の好きマップを見ていただいて「こんなことなら教えられる」「こういう経験がある」「一緒にやってみたいことがある」そんな思いをお持ちの方がいらっしゃいましたら、生徒の活動にご協力いただけないでしょうか。専門的な知識や技術を教えていただく「講師」としての関わりはもちろん、生徒の「やりたい」に寄り添い、一緒に考えたり、活動したりする「伴走者」としての関わりも大歓迎です。ぜひ、生徒たちの「やりたい」を一緒に支え、広げていく仲間として、お力添えをいただければ幸いです。

●【総合的な学習の時間】では「好き」「得意」を社会と結びつける探究をしています。生徒の設定するテーマによって地域の方の協力があると、生徒の学びが深まる場合があります。お力を貸していただけるとありがたいです。

【支援部会名】 安全支援・健全育成支援（PTA）部	
【昨年度取り組んだこと】 ◆安全支援 ○PTA 校外指導委員会を中心にした安全支援活動の実施 ・地域のパトロールの実施。（裁判所横階段や駅周辺のコンビニ等を巡回） ・夏休みに2日間、諏訪市少年警察ボランティアの方々と合同巡回を実施。 ○アンガーマネジメント講演会 ・PTA 講演会でアンガーマネジメント研修を実施。生徒と保護者の関係について声かけの仕方や普段の関わりについて学んだ ○保護者向けのネットトラブル等の講演 ・来年度入学予定の保護者向けにネット利用の課題について資料を配布し啓発した。 ◆PTA ○本 部 ・PTA活動全般の計画・推進、PTA講演会の企画・運営、各委員会事業への協力 ○評議員 ・PTA会費の徴収、地区生徒会への助言と指導 ○文化委員会 ・PTA新聞の発行、文化祭への協力と参加（PTA作品の展示） ○施設厚生委員会 ・親子作業への参加と指導、助言 ○校外指導委員会 ・地区校友会への参加と指導・助言、地区校友会活動での助言・指導、通学路危険箇所調査や地区パトロール ○子育て委員会 ・学年・学級懇談会の計画と推進、文化祭への協力と参加	
【成果】 ○PTA 校外指導委員の方々に地域のパトロールを行っているが、昨年同様地域やコンビニ等の店舗で問題行動をしている生徒の姿は見られなかった。	【課題】 ・旧道や国道は交通自動車の往来が激しいので、気をつけて登下校するよう繰り返し指導が必要である。 ・登下校中の様子について、地域の方から連絡をいただいたことがあった。中学生としての自覚を持たせたい。 ・地域の一員としての関わり方についての工夫を考えていきたい。
【今年度の方向】 ・中学生が地域で安心安全に生活したり登下校したりできるよう、生徒には交通ルールについて折にふれ確認し、地域のパトロールを継続していく。 ・懇談会等さまざまな場面で生徒の地域での様子をお聞きして、地域の中でよりよい関わりができるよう支援していく。 ・防災面や日常生活において、地域の中での中学生の役割について、さらに意識を醸成していく。 ・防犯意識の高めるため、PTA 講演会にて防犯アドバイザーによる対処方法を学ぶ ・今後もネットや携帯端末使用のルール、トラブルについての対処法、予防法などについて、家庭や地域と連携し、意識を高めていく。	

【支援部会名】 広報部	
【昨年度取り組んだこと】 ○手長丘だより地域版の発行 ○諏訪市小中学校ポータルサイト（ホームページ）への各種活動の報告・掲載	
【成果】 ○手長丘だより地域版の発行 ・昨年度も、回覧板形式で、区長さんに直接依頼し、全区ともご快諾いただけた。区長さんを始め、地域の方の御協力がなければできないことであり感謝します。 ○諏訪市小中学校ポータルサイト（ホームページ） ・昨年度はホームページを活用し、校内の行事について、様子や取組などを知ってもらえるように努めた。	【課題】 ○諏訪市小中学校ポータルサイト（ホームページ） ・ホームページの掲載が、時期を過ぎたものもあったので、リアルタイムで更新できるようにしていく。 ・どこまでの活動をホームページに掲載していくかスタートの時点でおおよそイメージしていく必要があると感じた。
【今年度の方向】 ○手長丘だより地域版の発行 ・全戸配布をするために、家族誰でもが見やすいもの分かりやすいものを心がけたい。昨年度と同様に、本年度も「大きな文字、少ない字数、写真や図を多く」を意識していきたい。 ・区長さんが変わっている地区もあるので改めて依頼していく。 ・基本的には回覧で行う。全戸配布の場合はで 5000 枚必要だが、その紙代については、年度当初特色のある学校づくり補助金の中に予算化しておく。 ・河西美恵子さん（CS）と協力して作成していく。 ○諏訪市小中学校ポータルサイト（ホームページ） ・ホームページの更新をリアルタイムでできるように心がけていきたい。	
【今年度の構想】 ○手長丘だより地域版の発行 ・ここで変わった区長さんには改めて依頼し、毎回連絡をとりお願いしていく。 ・地区で活躍する生徒を育てるためにも、生徒を通じて区長さんにお渡しするようなプロセスを確立していく。 ○諏訪市小中学校ポータルサイト（ホームページ） ・地域の方の声の中で良い情報を、各学年の学年通信やHPなどに載せ、保護者にも発信していけるようにする。 ・行事などがあった日になるべく近い日にホームページ掲載をしたい。	